

参考資料

	ページ	
実績編		
・ 連結	主要決算数値（14年度 対 13年度）	1
・ 個別	主要決算数値（14年度 対 13年度）	2
	営業主要計数 内訳（14年度 対 13年度）	3
・ 連結	営業キャッシュフロー 及び 設備投資内訳	4
見通し編		
・ 個別	経済フレーム及び年度収支影響感度	5
・ 連結	主要決算数値（今回見通し 対 前回見通し）	6
・ 個別	主要決算数値（今回見通し 対 前回見通し）	7
	営業主要計数内訳（今回見通し 対 前回見通し）	8
	主要決算数値（今回見通し 対 13年度）	9
	営業主要計数内訳（今回見通し 対 13年度）	10
・ 連結	営業キャッシュフロー 及び 設備投資内訳	11

実績編

連結 主要決算数値(14年度 対 13年度)

億円

	FY14 3Q	FY13 3Q	増減		備考
売上高	15,801	14,353	1,448	10.1%	都市ガス+1,047(物量増、販売単価増)、その他エネルギー+425(電力+268、LNG販売+106)
営業利益	567	878	▲ 311	▲35.4%	都市ガス▲318、その他エネルギー▲15、その他+57(海外+62、船舶▲15)
経常利益	514	831	▲ 317	▲38.1%	持分法による投資利益▲13
当期純利益	377	551	▲ 174	▲31.5%	[当期]固定資産売却益+54、投資有価証券売却益+48、投資有価証券評価損▲5、減損損失▲5 [前期]固定資産売却益+6、減損損失▲21

総資産 ※	22,277	21,768	509	2.3%	有形固定資産+298、無形固定資産+105、流動資産+100
自己資本 ※	9,838	10,117	▲ 279	▲2.8%	当期純利益+377、自己株式市場買付▲399、配当金支払▲247
自己資本比率 ※ (%)	44.2%	46.5%	▲2.3%	—	総資産が増加(+2.3%)したのに対し、自己資本が減少(▲2.8%)したため下降
総資産回転率 (回転)	0.72	0.71	0.01	—	
有利子負債残高 ※	8,606	7,138	1,468	20.6%	東京ガス+1,407、TGリース+45
当期純利益	377	551	▲ 174	▲31.5%	
減価償却(*2・3)	1,041	1,027	14	1.4%	東京ガス+9(個別ベース)
営業キャッシュ・フロー(*1)	1,419	1,578	▲ 159	▲10.1%	
設備投資(*2)	1,406	1,746	▲ 340	▲19.5%	TGバーネット▲446、TG+103
1株当たり当期純利益 (円/株)	15.42	21.91	▲ 6.49	▲29.6%	当期純利益減(▲174)により減少
1株当たり純資産 ※ (円/株)	403.17	402.91	0.26	0.1%	

FY13 3Q数値は、P/L系の項目は前年同四半期数値を表示、B/S系の項目は前期末(2014年3月末)数値を表示(※印付き項目)

(*1)営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「当期純利益+減価償却」で定義した簡便法で算定

(*2)設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

(*3)減価償却には長期前払費用償却を含む

個別 主要決算数値(14年度 対 13年度)

第3四半期実績

億円

	今期	前期	増減	
総売上高	14,329	13,011	1,318	10.1%
営業利益	268	657	▲ 389	▲59.2%
経常利益	327	678	▲ 351	▲51.6%
当期純利益	275	462	▲ 187	▲40.4%

料金スライドの収支への影響

	今期	前期	増減
料金によるスライド回収	479	▲ 123	602
原料費の増加分	530	▲ 296	826
差し引き	▲ 51	173	▲ 224

金額は基準価格に対する増減額

経済フレーム

	今期	前期	増減
原油価格	102.54	109.46	▲ 6.92
為替レート	106.73	99.36	7.37

億円

	今期	前期	増減		
製品売上高(ガス売上高)	10,947	9,896	1,051	10.6%	
営業費用	原材料費	7,685	6,344	1,341	21.1%
	(粗利)	(3,262)	(3,552)	(▲ 290)	(▲8.1%)
	諸給与	642	699	▲ 57	▲8.3%
	諸経費	1,785	1,732	53	3.1%
	減価償却費	755	746	9	1.3%
	LNG受託加工費	▲ 34	▲ 35	1	-
計	10,833	9,487	1,346	14.2%	
受注工事収支	▲ 1	0	▲ 1	-	
器具販売等収支	42	94	▲ 52	▲55.2%	
営業雑収支	41	95	▲ 54	▲56.8%	
附帯事業収支	113	154	▲ 41	▲26.6%	
営業利益	268	657	▲ 389	▲59.2%	
営業外収支	59	20	39	192.1%	
経常利益	327	678	▲ 351	▲51.6%	
特別利益	61	0	61	-	
特別損失	5	21	▲ 16	-	
法人税等	108	194	▲ 86	▲44.3%	
当期純利益	275	462	▲ 187	▲40.4%	

数量・料金構成差+538億円、単価差+513億円

数量・原料構成差+486億円、単価差+855億円(為替影響=+456、油価影響=▲31)

数量・構成差+52億円、単価差▲342億円

数理計算上の差異▲38億円、人員減 他

詳細は下記参照

設備新規取得に伴う償却費増他

器具収支▲43億円(器具メンテナンス引当▲38億円、GHP台数減▲7億円等) 他

電力販売▲25億円、LNG販売▲15億円 他

関係会社受取配当金+58億円 他

今期:投資有価証券売却益48億円、固定資産売却益12億円

今期:関係会社投資有価証券評価損5億円、前期:固定資産減損損失20億円

諸経費

億円

	今期	前期	増減	
修繕費	249	261	▲ 12	▲4.5%
消耗品費	107	105	2	1.8%
賃借料	133	136	▲ 3	▲2.0%
委託作業費	475	472	3	0.5%
租税課金	347	332	15	4.3%
需要開発費	140	157	▲ 17	▲10.6%
その他	334	269	65	24.7%

ガス栓対策引当▲13億円 他

売上高増に伴う事業税増+13億円 他

イベント・広告の効率化 他

経年ガス導管対策引当+57億円 他

個別 営業主要計数(14年度 対 13年度)
第3四半期実績

お客さま件数

千件

	今期	前期	増減	
お客さま件数	10,906	10,756	150	1.4%
新設件数	161	150	11	7.5%

個別ガス販売実績

百万m3

		今期	前期	増減		
家庭用1件当り販売量(m3)		217.8	216.6	1.2	0.5%	気温影響+1.6m3(+0.8%)、日数差異▲1.3m3(▲0.6%)、その他+0.9m3(+0.4%)
家庭用		2,001	1,961	40	2.0%	気温影響+14百万m3(+0.8%)、日数差異▲12百万m3(▲0.6%)、件数差異+30百万m3(+1.5%)、その他+8百万m3(+0.4%)
業務用	商業用	1,193	1,252	▲ 59	▲4.7%	
	その他用	610	630	▲ 19	▲3.1%	
	業務用計	1,804	1,882	▲ 78	▲4.1%	気温影響▲25百万m3(▲1.3%)、日数差異▲17百万m3(▲0.9%)、件数差異+7百万m3(+0.4%)、その他▲43百万m3(▲2.3%)
工業用	発電専用	2,984	2,247	737	32.8%	既存設備の増強等
	発電専用以外	2,240	2,281	▲ 41	▲1.8%	
	工業用計	5,224	4,528	696	15.4%	
計		7,028	6,409	618	9.6%	
卸供給		1,682	1,615	67	4.2%	気温影響+2百万m3(+0.1%)、卸先需要家需要増+65百万m3(+4.1%)
合計		10,711	9,986	725	7.3%	気温影響▲9百万m3(▲0.1%)、発電専用+737百万m3(+7.4%)、卸供給(気温影響除き)+65百万m3(+0.7%)、その他▲68百万m3(▲0.7%)
(内大口供給)		6,432	5,639	793	14.1%	

連結 営業キャッシュフロー 及び 設備投資内訳

営業キャッシュフロー

実績（今期3Q 対 前期3Q）

億円

<連結>		当期	前年同期	増減	
当期純利益		377	551	▲ 174	▲31.5%
減価償却		1,041	1,027	14	1.4%
営業CF(当期純利益+減価償却)		1,419	1,578	▲ 159	▲10.1%

<個別>		当期	前年同期	増減	
当期純利益		275	462	▲ 187	▲40.4%
減価償却		782	773	9	1.1%
営業CF(当期純利益+減価償却)		1,057	1,235	▲ 178	▲14.4%

設備投資内訳

実績（今期3Q 対 前期3Q）

億円

		実績	前年同期	増減	
東京ガス	製造設備	226	191	35	18.3%
	供給設備	641	586	55	9.4%
	業務設備他	102	90	12	13.8%
	計	971	868	103	11.9%
連結子会社設備投資*		434	877	▲ 443	▲50.5%
合計		1,406	1,746	▲ 340	▲19.5%

製造設備 : 日立LNG基地関連他+35億円

供給設備 : 需要開発関連+15億円、安定供給・保安関連他+40億円

業務設備他 : その他業務設備他+12億円

連結子会社設備投資 : 前期TGバーネット分の減 他

*連結相殺含む

見通し編

個別 経済フレーム及び年度収支影響感度

経済フレーム

	今回1/30見通し			
	上期	下期	年度	
原油価格	109.50	75.11	91.91	\$/bbl
為替レート	103.01	117.27	110.05	円/\$
	前回10/30見通し			
	上期	下期	年度	
原油価格	109.50	100.00	104.75	\$/bbl
為替レート	103.01	110.00	106.51	円/\$
	増減			
	上期	下期	年度	
原油価格	0.00	▲ 24.89	▲ 12.84	\$/bbl
為替レート	0.00	7.27	3.54	円/\$

原油価格・為替レート変動の年度収支影響感度 億円

1\$/bbl	4Q	年度
売上高	0	0
原料	▲ 5	▲ 5
粗利	5	5

※油価が1\$下がった場合の収支影響

1円/\$	4Q	年度
売上高	▲ 3	▲ 3
原料	▲ 20	▲ 20
粗利	17	17

※為替が1円円高になった場合の収支影響額

連結 主要決算数値(今回見通し 対 10/30見通し)

億円

	今回 (1/30)	前回 (10/30)	増減		備考
売上高	23,070	22,910	160	0.7%	
営業利益	1,750	1,450	300	20.7%	都市ガス+271(単価差)、その他エネルギー+27、海外+15、器具・工事▲31(器具メンテナンス引当)
経常利益	1,670	1,370	300	21.9%	
当期純利益	1,220	1,030	190	18.4%	

総資産	22,620	22,220	400	1.8%	
自己資本	10,930	10,510	420	4.0%	
自己資本比率 (%)	48.3%	47.3%	1.0%	-	
総資本回転率 (回転)	1.04	1.04	▲ 0.00	-	
ROA(*2) (%)	5.5%	4.7%	0.8%	-	
ROE(*2) (%)	11.6%	10.0%	1.6%	-	
有利子負債残高	7,390	7,420	▲ 30	▲0.4%	
D/Eレシオ	0.68	0.71	-	-	
	当期純利益	1,220	1,030	190	18.4%
	減価償却(*3・4)	1,420	1,420	0	-
営業キャッシュ・フロー(*1)	2,640	2,450	190	7.8%	
設備投資(*3)	2,320	2,370	▲ 50	▲2.1%	
TEP	468	272	196	72.1%	
(WACC)	3.6%	3.6%	-	-	
1株当たり当期純利益 (円/株)	49.84	42.08	7.76	18.4%	
1株当たり純資産 (円/株)	447.90	430.68	17.22	4.0%	
総分配性向(*5)	(*6)	-	-	-	

(*1)営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「当期純利益+減価償却」で定義した簡便法で算定

(*2)ROA・ROE算定の総資産・自己資本は前期末・当期末の平均値

(*3)設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

(*4)減価償却には長期前払費用償却を含む

(*5)n年度総分配性向 = ((n年度の年間配当金総額)+(n+1年度の自社株取得額))÷(n年度連結当期純利益)

(*6)2020年度に至るまで各年度6割程度とします

個別 主要決算数値(今回見通し 対 10/30見通し) 通期見通し

億円

	今回	前回10/30	増減	
総売上高	20,900	20,790	110	0.5%
営業利益	1,330	1,090	240	22.0%
経常利益	1,410	1,160	250	21.6%
当期純利益	1,040	910	130	14.3%

料金スライドの収支への影響

	今回	前回10/30	増減
料金によるスライド回収	777	741	36
原料費の増加分	395	633	▲ 238
差し引き	382	108	274

経済フレーム

	今回	前回10/30	増減
原油価格	91.91	104.75	▲ 12.84
為替レート	110.05	106.51	3.54

金額は基準価格に対する増減額

億円

	今回	前回10/30	増減	
製品売上高(ガス売上高)	16,040	15,880	160	1.0%
営業費用	原材料費	10,625	10,746	▲ 121 ▲1.1%
	(粗利)	(5,415)	(5,134)	(281) (5.5%)
	諸給与	855	872	▲ 17 ▲1.9%
	諸経費	2,485	2,453	32 1.3%
	減価償却費	1,027	1,032	▲ 5 ▲0.5%
	LNG受託加工費	▲ 47	▲ 46	▲ 1 -
計	14,945	15,057	▲ 112 ▲0.7%	
受注工事収支	8	5	3	60.0%
器具販売等収支	50	82	▲ 32 ▲39.0%	
営業雑収支	58	87	▲ 29 ▲33.3%	
附帯事業収支	177	180	▲ 3 ▲1.7%	
営業利益	1,330	1,090	240	22.0%
営業外収支	80	70	10	14.3%
経常利益	1,410	1,160	250	21.6%
特別利益	67	92	▲ 25 -	
特別損失	5	5	0	-
法人税等	432	337	95	28.2%
当期純利益	1,040	910	130	14.3%

数量・料金構成差+124億円、単価差+36億円

数量・原料構成差+117億円、単価差▲238億円(為替影響=+300、油価影響=▲457)

数量・構成差+7億円、単価差+274億円

人員減 他

詳細は下記参照

設備取得時期遅れに伴う償却費減他

新設件数増 他

器具収支▲33億円(器具メンテナンス引当▲38億円) 他

電力販売▲17億円、LPG販売▲2億円、LNG販売+19億円 他

関係会社受取配当金+19億円(今回150、前回131) 他

投資有価証券売却益▲32億円 他

億円

諸経費

	今回	前回10/30	増減	
修繕費	352	350	2	0.6%
消耗品費	146	146	0	0.0%
賃借料	177	179	▲ 2 ▲1.1%	
委託作業費	644	646	▲ 2 ▲0.3%	
租税課金	481	477	4	0.8%
需要開発費	227	232	▲ 5 ▲2.2%	
その他	458	423	35	8.3%

経年ガス導管対策引当+39億円 他

個別 営業主要計数内訳(今回見通し 対 10/30見通し)
通期見通し

お客さま件数

千件

	今回	前回10/30	増減	
お客さま件数	10,951	10,941	10	0.1%
新設件数	226	218	8	3.3%

ガス販売量内訳

百万m3

	今回	前回10/30	増減			
家庭用1件当り販売量(m3)	366.2	365.7	0.6	0.2%	気温影響+0.4m3(+0.1%)、日数差異▲0.1m3(▲0.0%)、その他+0.3m3(+0.1%)	
家庭用	3,373	3,365	9	0.3%	気温影響+4百万m3(+0.1%)、日数差異▲1百万m3(▲0.0%)、件数差異+3百万m3(+0.1%)、その他+3百万m3(+0.1%)	
業務用	商業用	1,689	1,706	▲17	▲1.0%	
	その他用	864	879	▲15	▲1.7%	
業務用計	2,554	2,585	▲31	▲1.2%	気温影響▲6百万m3(▲0.2%)、件数差異▲6百万m3(▲0.2%)、その他▲19百万m3(▲0.8%)	
工業用	発電専用	4,081	3,885	195	5.0%	
	発電専用以外	3,013	3,032	▲18	▲0.6%	
工業用計	7,094	6,917	177	2.6%		
計	9,648	9,502	146	1.5%		
卸供給	2,322	2,315	7	0.3%	卸先需要家の稼働増+7百万m3(+0.3%)	
合計	15,343	15,182	161	1.1%	気温影響▲2百万m3(+0.0%)、発電専用+195百万m3(+1.3%)、 工業用(発電専用以外)▲18百万m3(▲0.1%)、 卸供給(気温影響除き)+7百万m3(+0.0%)、その他▲21百万m3(▲0.1%)	
(内大口供給)	8,749	8,585	164	1.9%		

個別 主要決算数値(今回見通し 対 13年度) 通期見通し

	億円			
	今回	前期	増減	
総売上高	20,900	19,085	1,815	9.5%
営業利益	1,330	1,286	44	3.4%
経常利益	1,410	1,302	108	8.2%
当期純利益	1,040	900	140	15.5%

料金スライドの収支への影響

	今回	前期	増減
料金によるスライド回収	777	▲ 76	853
原料費の増加分	395	▲ 242	637
差し引き	382	166	216

経済フレーム

	今回	前期	増減
原油価格	91.91	110.00	▲ 18.09
為替レート	110.05	100.17	9.88

金額は基準価格に対する増減額

	億円				
	今回	前期	増減		
製品売上高(ガス売上高)	16,040	14,677	1,363	9.3%	
営業費用	原材料費	10,625	9,388	1,237	13.2%
	(粗利)	(5,415)	(5,289)	(126)	(2.4%)
	諸給与	855	935	▲ 80	▲ 8.6%
	諸経費	2,485	2,441	44	1.8%
	減価償却費	1,027	1,019	8	0.8%
	LNG受託加工費	▲ 47	▲ 47	0	-
計	14,945	13,737	1,208	8.8%	
受注工事収支	8	11	▲ 3	▲ 28.5%	
器具販売等収支	50	117	▲ 67	▲ 57.5%	
営業雑収支	58	128	▲ 70	▲ 54.9%	
附帯事業収支	177	217	▲ 40	▲ 18.6%	
営業利益	1,330	1,286	44	3.4%	
営業外収支	80	16	64	-	
経常利益	1,410	1,302	108	8.2%	
特別利益	67	4	63	-	
特別損失	5	21	▲ 16	-	
法人税等	432	385	47	12.1%	
当期純利益	1,040	900	140	15.5%	

数量・料金構成差+590億円、単価差+773億円

数量・原料構成差+557億円、単価差+680億円(為替影響=+875、油価影響=▲775)

数量・構成差+33億円、単価差+93億円

数理計算上の差異費用▲52億円、人員減 他

詳細は下記参照

設備新規取得に伴う償却費増他

費用増 他

器具収支▲53億円(器具メンテナンス引当▲38億円、GHP減▲9億円等) 他

LNG販売+28億円、電力販売▲67億円 他

関係会社受取配当金+99億円(当期150、前期51) 他

今期:投資有価証券売却益48億円、固定資産売却益12億円 他、 前期:固定資産売却益4億円

今期:関係会社投資有価証券評価損5億円、 前期:固定資産減損損失21億円

諸経費		億円			
	今回	前期	増減		
修繕費	352	368	▲ 16	▲ 4.6%	
消耗品費	146	145	1	0.1%	
賃借料	177	180	▲ 3	▲ 1.9%	
委託作業費	644	642	2	0.2%	
租税課金	481	464	17	3.6%	
需要開発費	227	244	▲ 17	▲ 7.1%	
その他	458	398	60	16.0%	

ガス栓対策引当▲13億円 他

売上増に伴う事業税増+15億円 他

イベント・広告の効率化 他

経年ガス導管対策引当+39億円、電力料+11億円 他

個別 営業主要計数内訳(今回見通し 対 13年度)
通期見通し

お客さま件数

千件

	今回	前期	増減	
お客さま件数	10,951	10,809	142	1.3%
新設件数	226	224	2	0.7%

ガス販売量内訳

百万m3

	今回	前期	増減			
家庭用1件当り販売量(m3)	366.2	368.6	▲ 2.4	▲0.7%	日数差異▲2.2m3(▲0.6%)、その他▲0.2m3(▲0.1%)	
家庭用	3,373	3,345	29	0.9%	気温影響+2(+0.0%)、日数差異▲18百万m3(▲0.6%)、件数差異+51百万m3(+1.6%)、その他▲6百万m3(▲0.1%)	
業務用	商業用	1,689	1,757	▲ 67	▲3.8%	
	その他用	864	924	▲ 59	▲6.4%	
	業務用計	2,554	2,681	▲ 127	▲4.7%	気温影響▲40百万m3(▲1.5%)、日数差異▲23百万m3(▲0.9%)、件数差異+7百万m3(+0.3%)、その他▲71百万m3(▲2.6%)
工業用	発電専用	4,081	3,127	954	30.5%	既存設備の増強等
	発電専用以外	3,013	3,112	▲ 99	▲3.2%	
	工業用計	7,094	6,239	855	13.7%	
計	9,648	8,919	729	8.2%		
卸供給	2,322	2,255	67	3.0%	卸先需要家の稼働増+67百万m3(+3.0%)	
合計	15,343	14,519	824	5.7%	気温影響▲38百万m3(▲0.3%)、発電専用+954百万m3(+6.6%)、工業用(発電専用以外)▲99百万m3(▲0.7%)、卸供給(気温影響除き)+67百万m3(+0.5%)、その他▲59百万m3(▲0.4%)	
(内大口供給)	8,749	7,802	947	12.1%		

連結 営業キャッシュフロー 及び 設備投資内訳

営業キャッシュフロー

(今回見通し 対 前回見通し)

億円

<連結>	今回1/30	前回10/30	増減	
当期純利益	1,220	1,030	190	18.4%
減価償却	1,420	1,420	0	0.0%
営業CF(当期純利益+減価償却)	2,640	2,450	190	7.8%

<個別>	今回1/30	前回10/30	増減	
当期純利益	1,040	910	130	14.3%
減価償却	1,062	1,067	▲5	▲0.5%
営業CF(当期純利益+減価償却)	2,102	1,977	125	6.3%

(今回見通し 対 前期通期)

億円

<連結>	今回1/30	前期	増減	
当期純利益	1,220	1,084	136	12.5%
減価償却	1,420	1,403	17	1.2%
営業CF(当期純利益+減価償却)	2,640	2,487	153	6.2%

<個別>	今回1/30	前期	増減	
当期純利益	1,040	900	140	15.6%
減価償却	1,062	1,056	6	0.6%
営業CF(当期純利益+減価償却)	2,102	1,956	146	7.5%

設備投資内訳

(今回見通し 対 前回見通し)

億円

		今回1/30	前回10/30	増減	
東京ガス	製造設備	352	351	1	0.2%
	供給設備	995	1,006	▲11	▲1.2%
	業務設備他	231	239	▲8	▲3.9%
	計	1,578	1,598	▲20	▲1.3%
連結子会社設備投資*		742	772	▲30	▲3.9%
合計		2,320	2,370	▲50	▲2.1%

供給設備 : 安定供給・保安関連他▲11億円

業務設備他 : その他業務設備他▲8億円

(今回見通し 対 前期通期)

億円

		今回1/30	前期	増減	
東京ガス	製造設備	352	289	63	21.5%
	供給設備	995	907	88	9.7%
	業務設備他	231	190	41	20.4%
	計	1,578	1,388	190	13.6%
連結子会社設備投資*		742	1,092	▲350	▲32.1%
合計		2,320	2,480	▲160	▲6.5%

製造設備 : 日立LNG基地関連他+63億円

供給設備 : 安定供給関連+58億円、需要開発・保安関連他+30億円

業務設備他 : その他業務設備他+41億円

連結子会社設備投資 : 前期TGバーネット分の減 他

*上記2表の「連結子会社設備投資」には連結相殺含む

東京ガス株式会社

<見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られ
た東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうること
をご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価格
の動向、気温の変動、円ドルの為替相場、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガ